



人間ロータリークラブ

Weekly Report



2013-2014 R I 会長：ロン D. バートン
 R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
 例会日：木曜日 12：30～13：30
 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール
 Tel.04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：細淵 克則
 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
 Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 32 号 2801 回例会 2014 年 2 月 20 日 (木) 例会場、丸広・さくら草ホール

< ビジター・ゲスト >

新狭山ロータリークラブ

石田 嵩 様



3/14 に狭山市民交流センターにて所沢法人会 狭山支部主催による講演会を行います。入間川町・豊岡町・川越市を中心とした石川組製糸の社会貢献のお話しを、講師染井佳夫様にして頂きます。大変素晴らしい内容ですので是非お出で頂ければと思います。

ロータリー財団国際親善学友 工藤 聖彦 様

今週の月曜日に丸一日かけて帰って来ました。ドイツに比べ日本の方が寒く、雪にもビックリしています。今回は三月末迄の滞在を予定しており、3/16 に留学の成果も兼ねましてアミーゴにてコンサートを開く事になりました。どうぞ、これからも宜しくお願いいたします。



会長の時間

友野政彦会長

週末に東日本を中心に降り続いた大雪により、各地で交通網が寸断され物流は途絶えて孤立する集落が相次ぎました。東京 27 センチ・熊谷 62 センチ・秩父 98 センチ・甲府 114 センチという積雪量は「想定外」だったのでしょうが、雪に不慣れた自治体の対応が後手に回ったのが被害を大きくした一因といわれています。秩父市が除雪の為に自衛隊の出動を要請したのを埼玉県が再三拒み、即座に対応した山梨県に入った 55 時間後ようやく自衛隊が来たとの事です。住民の生命・安全を確保する為の除雪なのだから柔軟に対応してほしかったと思いました。今後とも各自治体が臨機応変に派遣要請できるように自衛隊との連絡体制を強化する必要があるでしょう。また、高速道路の渋滞や閉鎖が多発した原因の一つは、

冬用タイヤやチェーンを装着してない車がまず動けなくなり、他の車の通行を妨げたことだと報じられています。これらの装備は自分自身の安全確保のみならず、道路の機能を守る為にも必要なのだと改めて自覚しました。そして私どものような施設は、利用者の安全確保のために細心の注意を払うべきであると考えています。

さて、嬉しい話題もあります。ソチ五輪における日本人選手の活躍もさることながら、ベルリン国際映画祭において山田洋次監督の「小さいうち」に出演した黒木華さんが最優秀女優賞を受賞しました。左幸子さん・田中絹代さん・寺島しのぶさんに次ぐ日本人 4 人目の受賞です。原作は、中島京子さんの直木賞受賞作である同名小説です。私は偶々これを読んでおり、原作の小説を読んだ後映画を観ると失望することも少なくないのですが、今回は観てみようと思います。ところでこの「小さいうち」という題名は著名な絵本作家バージニア・バートンのデビュー作から採っています。バートンの「ちいさいうち」も子供の頃読みましたが特に最後の作品となった「せいめいのれきし」は、地球の誕生から現代までを描いた子供向けの科学書で、小学校低学年だった私の手放せない本でした。今も人気があり、この本を子供の頃読んだ経験を語る方も数多くいます。

最後に先週バレンタインデーもありましたが、有楽製菓の「ブラックサンダー」というチョコレートもらった方はいらっしゃるでしょうか。絶対に「本命」と勘違いされたくない場合に渡す究極の義理チョコとして大人気で、売り切れが続出しているそうです。意外な理由で誕生したヒット商品ですね。

幹事報告

西山祐三幹事

二週続いての雪で、遅くなりましたが本日、ガバナー月信 2 月号をお配りします。



会 員 卓 話

「木材のはなし」

粕谷康彦 会員



木材業は林業、製材業、木材業となっています。林業は、植林をして、20年たちますと、間伐をして2m間隔で育て、枝打ちをして、良い木をつくり。50年～60年で伐採して出荷します。製材業は、原木を市場から仕入れて、帯鋸で板割、割もの柱材等挽製品をつくります。木材業は、既製品、合板、建材等を扱って販売します。

国内の木材供給量は、輸入材が70%、国産材が30%、輸入材はカナダ、アメリカから米樺、米松、米ヒバ等、ロシアから赤松、スウェーデン、フィンランドからホワイトウッドのラミナー、アラスカからスプールスを輸入しています。

木材の供給は主として木材市場、センター問屋、問屋等から仕入れられます。需要は建設会社、工務店、大工さんに販売しています。国産材は、主に桧と杉で産地は、桧が吉野、尾鷲、土佐、日田、杉が東北、九州、長野、岐阜、四国から多く出荷されています。

15年前頃までは工務店の仕事場で、大工さんが図面を見ながら墨付けをして、木材を刻んで家を建てましたが、今では100%プレカットで建てています。加工コストは、大幅に安くなっています。

住宅着工は、平成25年後半から26年前半にかけてアベノミクスのデフレ脱却による経済政策と4月からの消費税値上げによる駆け込み需要で、木材および建材の不足が懸念されます。平成25年度の新設住宅着工戸数は98万戸、前年比11%増となり4年連続の増加となっています。

合板は、ラワン合板と針葉樹合板がありますが、輸入合板はインドネシア、マレーシアサラワク、中国、ベトナムなどです。マレーシアからの輸入の減少は、原木不足、伐採地の奥地化、大型ダム建設による搬出道路の迂回によるコストアップ、伐採重機の老朽化等であります。インドネシアについては、かつて120社を超えていた合板工場が10数社に落ち込んで、きましたけれども最近では小径木の、ロータリーレース導入を行う新たな設備投資の、話も聞こえてきています。

針葉樹合板は、国産がほとんどで、経済が好況なので、需要が多く不足気味で心配になります。輸入合板56%、国産合板44%で国内の合板工場の設備投資が進んでいますので、供給圧力が高まり今年後半に向かっては、価格が厳しくなっていくのではないかと思います。

建築業界の動向は、消費増税の問題はあるとしても、一番大変なのは職人不足であり、正直言って解決策が見つからない状況です。資材については国産材価格がヒートアップしていますが、このような状況が続くと折角国産材をつかっていこうと言う機運が高まっているにもかかわらず、逆に国産材離れが起きるのではないかと危惧しています。

日本は国土の3分の2が森林で覆われており、木材資源が豊富な世界有数の森林大国ですが、日本の森林の約4割が人工林（育成林）であり、昭和20年代半ばから植林されて成長した木々は、その多くが本格的に、利用可能な樹齢に達しています。その蓄積量は年々増え続けて量的には充実してきており人工林では、26億立方m（平成19年）に達しています。日本は山村の過疎、高齢化の課題を抱えており、地域の活性化にも繋がる林業の活性化は、喫緊の課題です。我が国の森林、林業を再生する指針として策定された「森林、林業再生プラン」では10年後の木材自給率50%以上が、目指すべき姿として掲げられています。住宅着工戸数の減少、更に人口の減少等の理由で、長期的にみると木材需要量は、減少傾向にあります。長期にわたる木材需要の停滞と、それに伴う価格の低迷等が原因で、国産材利用が続いています。平成23年7月には、森林法の一部を改正し森林、林業再生プランを法制面で具体化しました。今後国産材の供給力が、強化されることがみこまれます。

< 出席報告 >

木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	29名	72.5%	82.5%

事前欠席連絡 5名

< ニコニコBOX >

滝沢文夫 S A A

石田嵩様～いつもお世話になります。友野政彦君～昨日、今日と晴れてくれて本当にホッとします。後藤賢治君～工藤君美味しいクッキーありがとうございます。豊田義継君、田中快枝君～石田様、入間RCへのお越しありがとうございます。

本日¥6,000

累計¥664,000

■ 回覧、配布物

- ①ハイライトよねやま 167
- ②2014年2月18日ガバナーメッセージ(報告書)
- ③3/9国際ロータリー高校生向け留学説明会案内
- ④2014～2015年度版RC手帳申込書
- ⑤事業参加費の明細
- ⑥2/26 RI2750 地区主催シンポジウム参加ご案内
- ⑦3/16 アミーゴ工藤聖彦様マリンコンサート
- ⑧2/27 武蔵野音大楽器博物館見学出欠表
- ⑨他ロータリー週報
- ⑩週報 31号

会報委員会（関谷・平岡・忽滑谷）